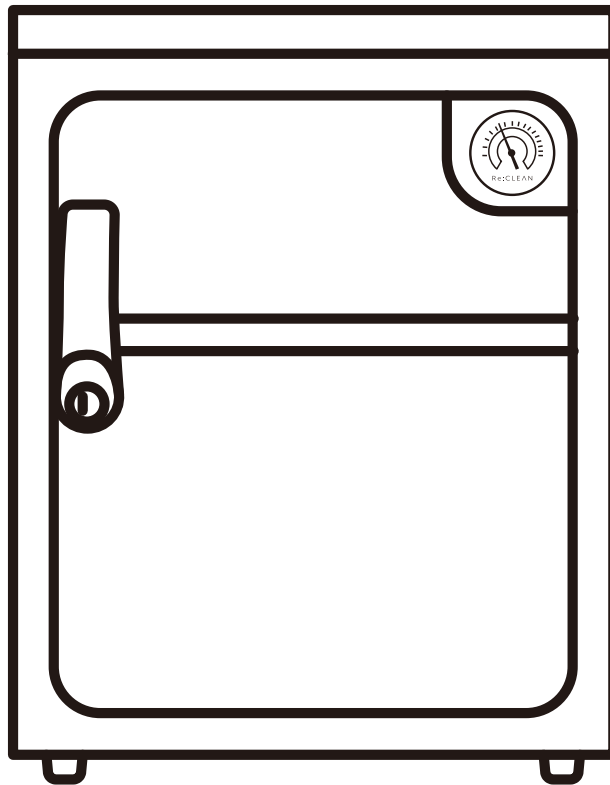


Re:CLEAN

DRY BOX

RC-21L/RC-30L/RC-50L/RC-80L/RC-25WH





CONTENTS

安全上のご注意	・ ・ ・ ・ ・	P2-P3
付属品/各部の名称	・ ・ ・ ・ ・	P4
ご使用前の準備	・ ・ ・ ・ ・	P5
ご使用方法	・ ・ ・ ・ ・	P6
お手入れ方法	・ ・ ・ ・ ・	P7
故障かなと思ったら	・ ・ ・ ・ ・	P8
保証について/故障のときは	・ ・ ・ ・ ・	P9
保証書	・ ・ ・ ・ ・	P10

リネクト・ジャパン株式会社


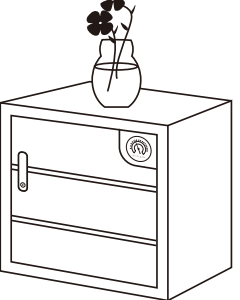

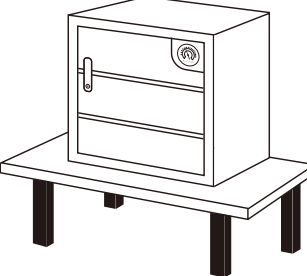

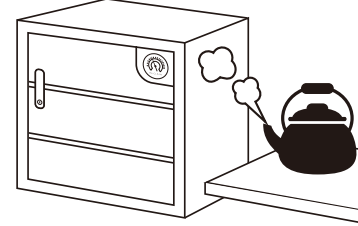

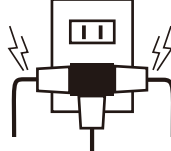

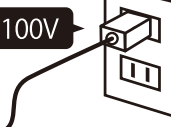

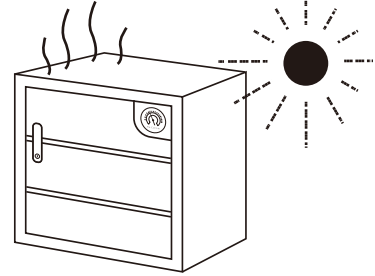

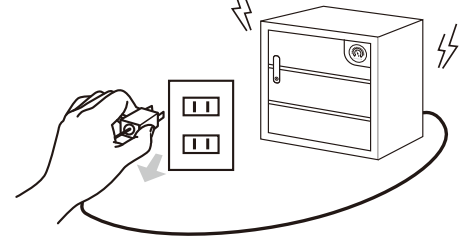
安全上のご注意

ご使用になる前に安全上のご注意をよくお読みになり、正しくお使いください
 ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付く
 重大な内容を記載しておりますので、必ずお守りください
 お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください

表示の説明	図記号の説明
 警告	 禁止
 注意	 指示

警告

 分解・改造はしない  感電・けがの原因	 お手入れ・取付のときは電源プラグをコンセントから抜く  火災・発火の原因	 電源プラグは根元まで確実に差し込む  火災・発火の原因
 電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふきとる  火災・発火の原因	 濡れた手で電源プラグを差し込んだり抜いたりしない  感電の原因	 電源コードを束ねて使用しない  火災・発火の原因
 爆発物・可燃性物質・揮発性の高い引火しやすいものは入れない  爆発・火災・発火の原因	 上に乗ったり重いものを載せない  けが・変形の原因	 吸気口・排気口に異物を入れたりふさいだりしない  故障の原因

 水の入った容器を置かない  火災・感電の原因	 高所に置くときは壁や柱、床などに固定する(市販の固定具を使用してください)  けがの原因	 水のかかるところや湿気が異常に多いところに置かない  火災・感電の原因
 コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない  火災・発火の原因	 交流100V以外の電源は使用しない  火災・発熱の原因	
 エアコンなどの風が直接当たる場所、温度変化の激しい場所、直射日光が当たる場所、ほこりの多い場所に置かない  本来の性能が発揮されない	 異常があったときは直ちに電源プラグを抜く(異臭がする/コンセントが異常に熱い/異音が出る/水や異物が入った)  火災・感電の原因	

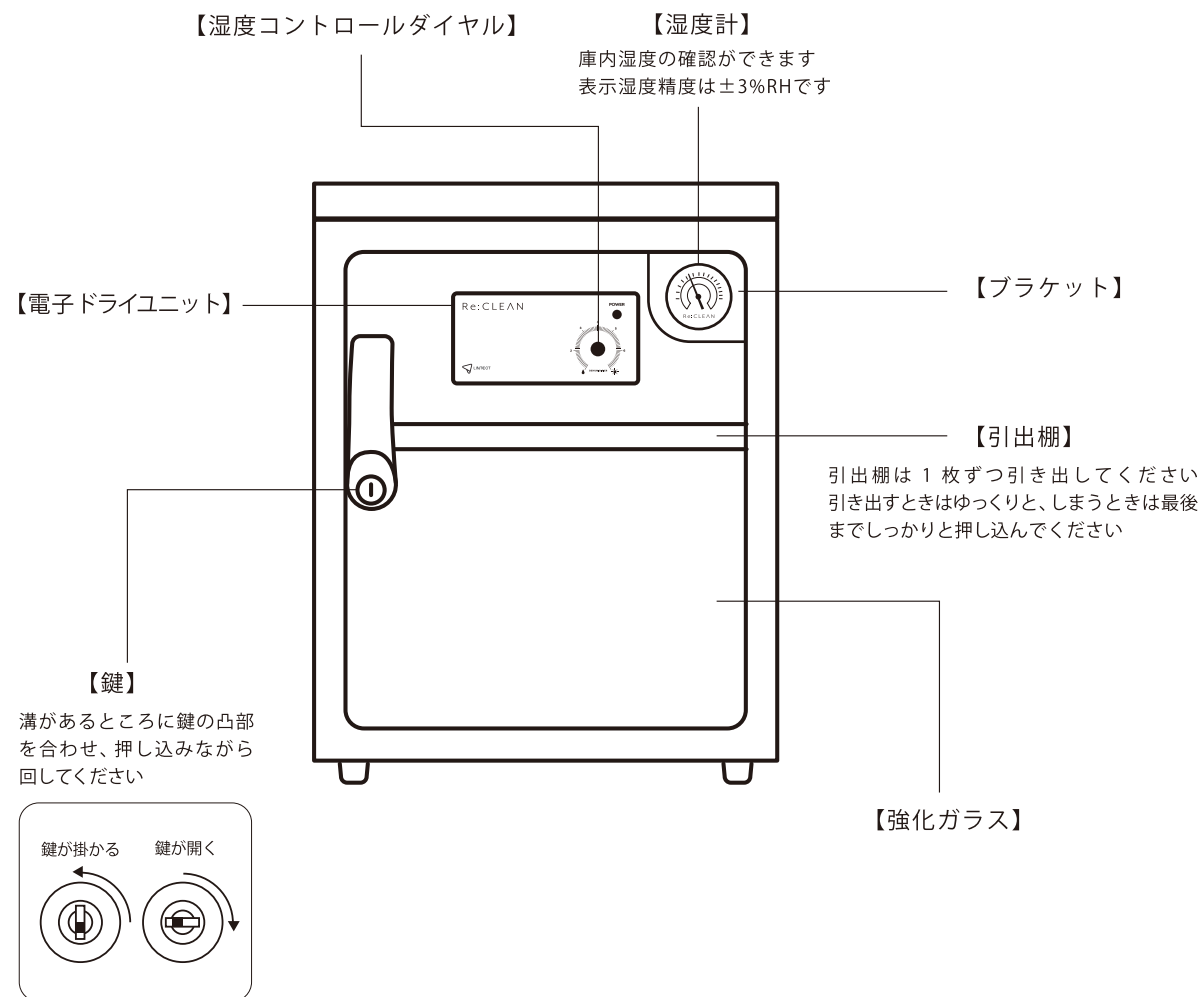
注意

 不安定な場所に置かない  けがの原因	 長時間使用しないときは電源プラグを抜く  火災・発火の原因	 本体の裏側には2cm以上の隙間を作る  放熱を妨げる
---	--	---

付属品

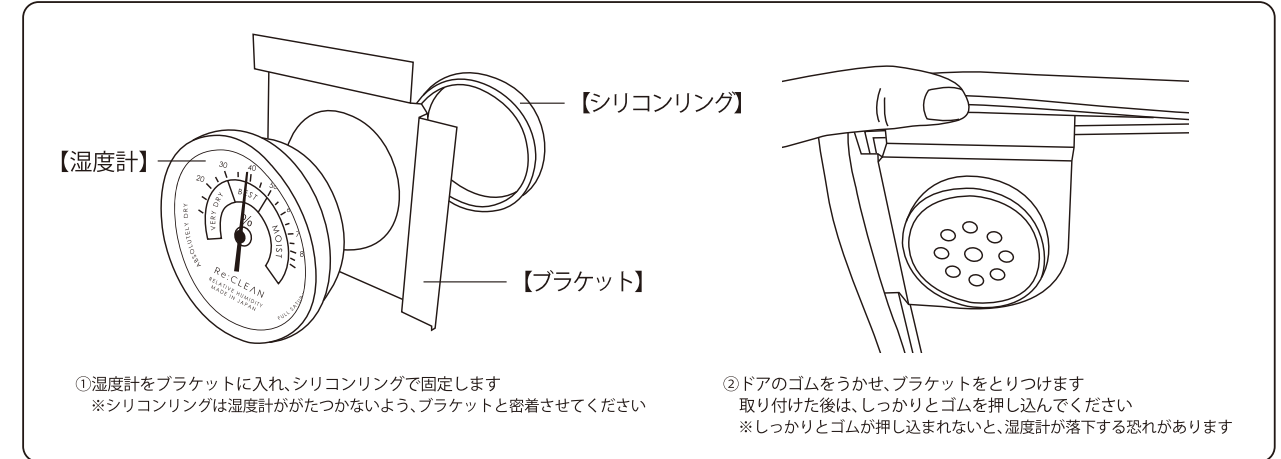
	RC-21L	RC-30L	RC-50L	RC-80L	RC-25WH
取扱説明書(本書)	1部				
保証書(本書P.10)	1枚				
鍵	2個				
ACアダプター	1個				
湿度計	1個				
ブラケット	1個				
シリコンリング	1個				
引出棚	-	1枚	2枚	3枚	-
スライド棚レール	-	1組	2組	3組	-
スポンジマット(平)	1枚	2枚	3枚	4枚	1枚

各部の名称

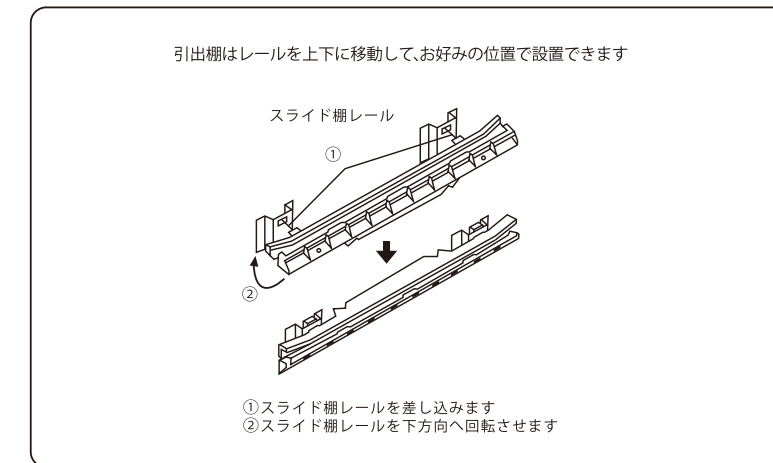


ご使用前の準備

●湿度計の設置方法



●引き出しの設置方法



●本製品は屋内の次のような場所に設置してください

- ・雨や風の当たらないところ
- ・床が平面で丈夫なところ、振動のないところ
- ・冷暖房の風が直接当たらないところ
- ・急激な温度変化のないところ
- ・直射日光の当たらないところ
- ・異常な湿気や水気のないところ
- ・ほこりやチリの少ないところ
- ・ガス等が発生しないところ

●設置する際の注意点

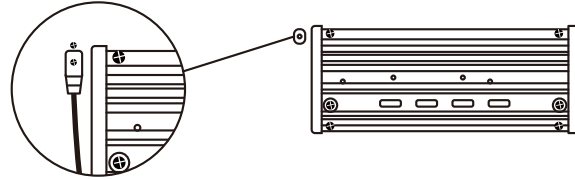
- ・本体を倒して使用しないでください
- ・設置する際、がたつきがないようアジャスターを調整してください
- ・製品を重ねての設置は危険です
- ・放熱を妨げないよう壁から2cm以上の間隔をあけて設置してください

ご使用方法

●ご使用方法

1. ACアダプターを本体とつなぎ、電源プラグをコンセントに差し込みます

- ・運転ランプが点灯し運転を始めます
運転ランプはHIGH POWERになればなるほど光度が強くなります



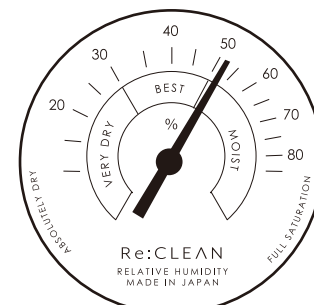
2. 湿度コントロールダイヤルを調節します

- ・最初は保管物を入れずに湿度が安定するまで空運転をしてください
- ・カメラ・レンズを保管する際の湿度は約30%~50%(湿度計のBESTの位置)の範囲が適湿です

湿度コントロールダイヤルの設定



湿度を低くする場合・・・ダイヤルを右に回す
湿度を高くする場合・・・ダイヤルを左に回す



湿度計

※環境条件・・・相対湿度60% 周囲温度25℃
※温度変化により、相対湿度は変化します
※相対湿度精度±7%

3. 庫内の湿度が適切になったら保管物を入れて使用してください

- ・保管物の材質や量によって、一時的に庫内の湿度が上がることがあります

●ご使用に関する注意点

- ・庫内の湿度が下がって安定するまでに1~2日かかる場合があります。保管物の材質(特に衣類・紙類・革製品・木材など湿気を含む物)によって湿度が安定するまでに1週間以上かかる場合もあります。
- ・電子ドライユニットの過熱再生中は熱をもつ場合がありますが、異常ではありません。
- ・本機は乾燥機ではありませんので、多量に水分を含んだものを乾燥させる能力はございません。雨に濡れたカメラ等は水分をよくふき取ってから保管してください。
- ・本機には加湿機能はありません。外気の湿度が低い場合、設定値より湿度が下がることがあります。冬場などに湿度が下がりにすぎる場合は、湿度コントロールダイヤルを左方向に回して調節してください。
- ・温度の調節機能はありません。
- ・湿度計の精度 ±3%RH は、庫内環境が常温であり湿度 35~70% の範囲に収まっていることが条件となります。

お手入れ方法

1 湿度計の確認

- ・本機が正常に作動しているかどうか、設定値通りに湿度が下がっているか1週間に1度ご確認ください

※市販の湿度計は湿度60%RHを基準に作られており、低湿度になるほど大きな誤差があります
湿度の確認は本機付属の専用湿度計をご利用ください

2 電源コードとプラグ(ACアダプター)のお手入れ

- ・プラグがコンセントに奥までしっかりと差し込まれているか
➡火災の原因となる可能性がありますので奥までしっかりと差し込んで下さい
- ・プラグが異常に熱くなっていないか
➡異常に熱い時は直ちに使用を中止してください
- ・電源コードが擦り切れていたり、傷んでいないか
➡傷んでいるときは、直ちに使用を中止してください
- ・プラグにほこりがたまっていないか
➡ほこりがたまっている場合は、プラグからコンセントを抜いて掃除してください

3 電子ドライユニットのお手入れ

- ・電子ドライユニット背面にある吸気・排気口にほこりがたまっていないか
➡ほこりがたまっている場合は、プラグからコンセントを抜いて掃除してください
- ・電子ドライユニット本体が変色していたり、異臭がしないか
➡変色・異音がする場合は直ちに使用を中止してください

4 本体が汚れたときは

- ・通常の汚れは化学雑巾またはやわらかい布で軽くふき取ってください
- ・洗剤や水を使用して汚れをおとした場合はよくふき取ってください
(水や洗剤の使用は本体の変色を引き起こす場合がございます)

故障かな?と思ったら

● 運転ランプが点かない

電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ブレーカーが落ちていませんか?	ブレーカーをオンにしてください。
停電していませんか?	停電が復帰するまでお待ちください。

● 臭いがする

使い始めたばかりですか?	乾燥剤が様々なにおいの成分を吸い込み、乾燥剤を加熱した際ににおいがすることがあります。臭いはしばらくするとなくなります。
--------------	--

● 湿度が下がらない

電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
保管物を入れたばかりですか?	保管物を入れた直後は一時的に庫内湿度が上昇します。
湿気のあるものを入れていませんか?	湿気を含む品物を入れた場合は湿度が下がりにくくなりますので、湿度コントロールダイヤルを右方向に回し、しばらく様子を見てください。
設定湿度が高めではないですか?	湿度コントロールダイヤルを右方向に回し、しばらく様子を見てください。
扉の開閉が多くありませんか?	頻繁に扉をあけたり、開閉時間が長いと、湿気が庫内に入り込み、湿度が上昇します。扉の開閉回数・開閉時間を減らしてください。
扉がきちんと閉まっていますか?	扉をきちんと閉めてください。

● 湿度が下がりすぎる

設定湿度が低めではないですか?	湿度コントロールダイヤルを左方向に回してください。
外気の湿度が低い環境ではありませんか?	本機には加湿の機能はありません。冬場など外気の湿度が低い場合は庫内の湿度が下がりすぎる場合があります。

● 湿度が一定にならない

温度変化の激しい場所ですか?	本機の湿度表示は%RH表示(相対湿度)のため、気温によって湿度表示は変化します。温度変化の多い場所に設置すると密閉状態での湿度は変化しますので、温度変化の激しい場所には設置しないでください。
----------------	---

保証について

- 電子ドライユニットの故障の場合、ほとんどが電子ドライユニットや湿度計のみの修理交換で済みますので、お手数ですが電子ドライユニットや湿度計のみの交換になる場合がございます
- 保証書の再発行はできかねますため、保証期間中は大切に保管してください
- また、保証期間中であることがわかるよう、納品書または購入店舗からお送りしているメールと一緒に保管いただきますようお願いいたします

※保証期間の内外にかかわらず、収納品の損傷、変質、劣化、故障などが発生した場合、その責を負いかねますので予めご了承ください

保証期間内であっても、下記の場合は修理いたしかねますので予めご了承ください

- ・使用上の誤り、不当な修理・改造による故障及び損傷
- ・接続した他の機器から障害を受けた場合
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災、公害、異常電圧による故障及び破損
- ・特殊な環境下での使用による故障及び損傷
- ・消耗品の交換
- ・設置場所の移動や運搬中の事故等による故障及び破損
- ・保証書の提示がない場合
- ・海外でのご利用

故障のときは

修理を希望される場合は、購入された店舗へその旨ご連絡ください
購入店舗にてお手続きの方法をご案内させていただきます

修理依頼・返送時の再梱包方法

1. 本機本体を梱包するときは庫内にあるものをすべて取り出してください
(引出棚、スライド棚レールはセロハンテープで固定してください)
2. 本体をエアークッションで包み、その外側を段ボールで包んで補強します
3. 「ガラス注意」「われ物注意」「天地無用」「水濡れ注意」などのステッカーを貼る、又は赤字で太書きしてください

※返送中に破損があった場合、保証対象外となる場合がございます。梱包の際は運送中の破損がないよう梱包してください

電子ドライユニット取付・取外し方

1. 電源プラグを抜いてください。
2. キャビネット裏側からユニットを取り付けている外周6本のねじを外してください
3. 電子ドライユニット本体を引き出してください
4. 修理完了後の電子ドライユニットは元通りにつけてください

